

長野高校合唱班OB
カイトソサィエティ
第15回記念定期演奏会
'80年3月29日(土)PM6:00
長野市民会館

KITE(カイト)のこと

長野高校合唱班OBによって構成される。会員が全国各地に散らばること100余名。長野高校の校章である、とんび(KITE)をいただいた私達は、毎春こうして、ふるさと信州に舞いもどり、歌声を皆様におきかせしてまいりました。「歌うとんびの仲間」を今後ともよろしくお願い申し上げます。

企画・主催 カイトソサィエティ



KITE SOCIETY
CONCERT

《プログラム》

STAGE I

男声合唱組曲「沙羅」

- 1 丹 沢
- 2 あづまやの
- 3 北秋の
- 4 沙 羅
- 5 鴉
- 6 行々子 清水重道 作詩
- 7 占ふと 信時 潔 作曲
- 8 ゆ め 福永陽一郎編曲

STAGE II

賛助ステージ

混声合唱「運命のうた」

ブラームス 作曲

PAUSE (休憩)

STAGE III

なつかしのステージ

STAGE IV

合同演奏

男声合唱とピアノのための 「ゆうやけの歌」

山崎 洋 作詩
湯山 昭 作曲

指揮 山本昇 和田朗 荒川大祐 (賛助)

ピアノ 山田すみ子 宮崎和子 服部武文 (賛助)

合唱 カイト ソサイエティ

賛助出演 長野高校合唱班
長野高校女声合唱班

曲 目 紹 介

■沙 羅

全8曲よりなる、この「沙羅」という組曲は、昭和10年、信時潔によって完成された独唱歌曲をもとにしている。その後、木下保によって、女声合唱や男声合唱、そしてつい最近、混声合唱に編曲され合唱人を喜ばすこととなったが、今回はまた別に福永陽一郎によって編曲された版を使っている。「沙羅」は日本語をたいへん大切に歌っている。まるで美しい朗読を聞いているようだ。そして美しいやまとことばによるハーモニーは日本画をも思わせる音画の世界を作りだしている。

■運命の歌

この曲は、大別して二つの部分から成り立っています。最初のゆっくりとした部分は、天国で妖精たちが歌っている歌であり、楽しく希望にみちみちているのです。そしてリズムは一転し、人間社会の醜さ、そしてそこからのがれようともがき苦しみ、七転八倒する人間の姿をうたい出します。北部ドイツの厳しい生活と、人間の姿そしてあこがれの的である天国、そんな姿が描きだせるよう、一生懸命歌います。

■なつかしのステージ

昔懐かしあの曲、あのステージが今、よみがえります！と、熱湯三分うまかめん、というようにいけばいいのですが、そこは仕事以外にも忙しい人たちのこと、そのままの再現とはならず、それでもところどころに、ふっと良き時代を感じていただけたら大成功といったところですよ。出演いたしますのは、いつ見ても懐かしい顔立ちのみなさん方です。みんなで、みましよう！

■ゆうやけの歌

第32回全日本合唱コンクールの会場は、会津高校の男声合唱にわいていた。「ゆうやけの歌」という男声の厚い響きの渦に、会場全体が熱興させられていたのである。結果はもちろん金賞であった。もともと、この「ゆうやけの歌」は崇徳高校グリーンが湯山昭に委嘱した曲で、同校もコンクールでこの曲を歌って金賞を得ている。作曲者自身が言っているように、この曲は青春の讃歌である。カイトのメンバーもその青春は合唱にあった。そんなカイトの15年目のメインにまさしく「ゆうやけの歌」はふさわしいと言えるだろう。

演 奏 者 紹 介

■長野高校合唱班・女声合唱班紹介

私たち合唱班、女声合唱班は、長野高校の班室街に、隣り同志に存在しています。班員は合唱班二十数名、女声十数名と、小人数ですが、その心意気は、「百名を超える大合唱にも負けない」と自負しています。普段は別々に活動している両班ですが、ひとたび、カイトソサイエティや、定期演奏会が近づくと一諸に活動し、混声合唱をつくりあげます。同声合唱では味わうことのできない楽しさが混声合唱にはあるような気がします。きょう、このステージでも、混声合唱として、両班一致協力してつくりあげた曲を演奏します。つたない演奏ですが、せいっぱい歌おうと思っています。昨年10月以来の練習の成果をどうぞお聞き下さい。

■ピアニスト プロフィール

今回ひさびさ女性ピアニストの登場で、いつになく浮き足だっているカイトのメンバーです。第1ステージに登場する宮崎和子さんは新潟大学の特設音楽科をでられ、ピアノ教師として、また長野市民合唱団コールアカデミーの団員としてもご活躍され、幅広い音楽活動をなさっています。第4ステージで登場の山田すみ子さんは、カイトとも長いつきあいで、確か第7回定期演奏会の智恵子抄以来今回で二回目だったと思います。彼女は長野高校出身で武蔵野芸術大学をでられ、現在東京で教師としてご活躍です。現役時代からファンが多く、その情熱的な演奏が楽しみです。

■山本昇先生プロフィール

古い会員から伝え聞いたところによると、若い頃はおそろしく怖い先生で、そのために泣いた学生が何人もいたとのこと、しかし今ではだいぶ円くなられ、親しみやすい先生としてカイトを指導なさって下さいます。今回は「ゆうやけの歌」の指揮をとっていただきますがこの難曲をどのように料理して下さるか、非常に楽しみです。先生は長野高校の教諭であり、同校の音楽系クラブを一手に受けるとともに、長野市民合唱団コールアカデミーその他各音楽団体でご活躍です。

では ごゆっくりどうぞ！